

令和4年度 晴海中学校 外部評価報告書

評価委員：織田幸雄委員長 山口啓朗副委員長 宮原一代委員

報告書作成者：織田幸雄委員長

評価時期 令和5年2月

1 重点目標の評価

(1) 重点目標1について

「生徒の学習意欲を高め、確かな学力の定着を目指す教員の授業力の向上」

◇授業参観をした際に、生徒が規律ある学習態度で臨んでいた。教職員もICTを活用した授業、プリント配布、ペアワーク、グループワーク、端末活用学習など、多様な学習方法を取り入れ工夫していた。教員と生徒が双方向で一体感のある良好な関係で教育活動が展開されているものと感じた。

◇多くの生徒が志望校に入学できていることなど、全体としては教員の確かな学力定着への尽力が素晴らしい。

◇一人に一台のタブレット端末が配布されているので、更なる活用を進めていくと良い。

◇「先生方は計画的に授業を進めていると思うか」の問いに大多数が肯定的で、特に3年生の高い水準は素晴らしい。

◇「授業内容がよくわかる」と答えた割合が高い水準で肯定的になっているのは、先生方の努力の賜であると考えられる。

(2) 重点目標2について

「生徒の活躍の場を意図的に増やし、生徒を鍛え、充実した3年間を過ごす」

◇生徒の登下校の様子や部活動の状況を見かけることがあり、挨拶をしてくれる生徒が多くいる。身だしなみもきちんとしており、通学マナーも良い。落ち着いた雰囲気があり、好印象をもっている。感染対策のために中断している地域との連携した学習活動の展開が期待される。その際には、晴海総合高校との協働した取組が実践できることを楽しみにしている。

◇コロナ禍も収束し、今後は課外活動や行事も増えてくることが考えられ、先生方にとっては負担増が予想されるが、ICT活用などによる生産性向上によって、生徒たちの活躍の場を増やし、自己肯定感の醸成を促進してほしい。

◇不登生徒が少しでも減少するよう、取組をお願いしたい。

◇勉強以外にも生徒たちが力を発揮できる場所を増やしていけると良い。

◇重点目標2について、保護者も学校生活に期待し、満足しているように思われる。

3 本年度、本校の取組についてのご意見など

◇安全教育推進校の指定を受け、特に防災教育の推進が目覚ましい。新しいスタイルの避難訓練の実施、避難所運営体験活動、防災小説の執筆等、先進的な取組を行っており、これらは、他校の防災教育の先行事例となっていくものと思われる。晴海総合高校でも参考にしていきたい。

◇研究発表にて防災を取り上げたが、生徒たちが将来、地域活動の担い手となった時に大いに役立つと思われる。地域の一員としてお礼申し上げたい。

◇自転車運転時のヘルメット着用が、半ば義務化されたことなど要求される規範意識の水準は高まっていると感じる。生徒たちへの指導よろしく願いたい。

◇先生方が、子供たちと真摯に向き合っている。PTA活動にも積極的に参加してくださり感謝している。

◇安全教育推進校として「防災教育を通して育む生徒の主体性と地域安全への展開」は素晴らしい内容だと思う。今後も取り組んでいただきたい。